

# 関電はびわ湖を汚すな！ 原発全廃！びわ湖 一周デモニュース

☆「びわ湖一周デモ」でITブログ検索下さい！

第2号

2016年5月5日  
原発全廃！びわ湖  
一周デモ実行委員会  
連絡先・稲村守  
TEL080-5713-8629  
E-mail:sinamu2002@yahoo.co.jp

## 晴天に恵まれて、琵琶湖一周デモスタート。250名が原発反対を力強く訴え。沿道の市民や琵琶湖沿岸の行楽客から声援多数。

原発反対！の心意気を支えるように昨夜来の雨も上がった5月4日、びわ湖一周デモは、250名のご参加を得て、スタートした。出発集会は、午前10時より、JR大津駅前で開催され、田中 徹実行委員会委員長より、歓迎の辞とこのデモの意義についての説明があった。また、木原壮林「若狭の原発を考える会」共同代表より若狭の原発を巡る最近の情勢の解説があった。報道各社の取材があった。デモは、大津地裁前を通過したが、ここでは、参加者全員で、高浜原発3、4号機運転差し止めの大英断を下した地裁への感謝と連帯のエールをおくった。デモは、琵琶湖岸を進み、近江大橋を渡ったが、琵琶湖面を渡る薫風に翩翩（へんぽん）とはためく反原発の旗指し物は圧巻であった。昼食後、琵琶湖沿岸をさらに北上。大勢の家族連れ、あるいはグループがキャンプやバーベキューを楽しんでおられたが、多くの皆さんが手を振って激励下さった。「草津道の駅」では休息の後、仲尾 宏京都造形芸術大学客員教授より、この後通過する「朝鮮人街道」についての解説を聴いた。この街道は、豊臣秀吉による朝鮮侵略の蛮行を謝罪するために徳川幕府が招待した朝鮮人500人と随行日本人1,500人が通過したこと、この当時「朝鮮人」差別は全くなかったことが紹介された。朝鮮人街道は、旧街道の様相を呈し、軒を連ねた街道筋では、反原発を訴えるチラシを各戸配布した。この日のデモは、午後5時前にJR野洲駅で解散した。参加者にとって、快い達成感を味わった1日であった。

**5月5日（木）のデモは、10時にJR野洲駅北口を出発し、安土城址を経て、JR南彦根駅までの予定（途中、一部車利用）。多数のご参加を！**



JR 大津駅前デモ出発集会



デモ、大津地裁前で感謝と連帯



デモ、近江大橋を渡る



デモ、琵琶湖沿岸を進む



釣り人、大ナマズを自慢

福島原発事故では事故炉から約 50 km の距離にある飯館村も全村避難を強いられました。また、約 200 km 離れた東京や千葉にも高濃度の放射性物質が飛来しました。このことは、若狭の原発で重大事故が起こった場合、原発のある若狭だけでなく、原発から 100 km 以内にある、約 150 万人が住む滋賀県や約 250 万人が住む京都府の全域が永遠に住めない汚染地域になりかねないことを示しています。そうなれば、数百万人の避難となり、どんな避難計画を作っても、避難は不可能です。したがって、避難の要因を作る原発の即時全廃を求めることが肝心です。